

医療機関のICTシステム部門が抱える課題 「メディカルICTリーダー養成講座」 受講者アンケートから

2018年6月9日
第20回 医療マネジメント学会学術総会
坂口一樹
日本医師会総合政策研究機構

1

背景と問題意識

病院のICT関連コスト

6,848億円／年

高額医療機器の導入・保守のコスト

1兆9,121億円／年

資料：日本病院会（2017）「平成28年度 医療機器・医療情報システム保守契約・費用に関する実態調査」

あまりに
不透明
一定の規制が
必要では!?



医療機関側とシステム業者側との

情報の非対称性

2

メディカルICTリーダー養成講座

目 的

- ICTシステムの導入・運用にあたり、適切な評価・判断ができる人材を“医療機関の内部に”養成する。

対 象（受講者層）

- 医療現場でICTシステムの導入・運用に関わる方
※調剤薬局、歯科医院、介護施設で同様の業務をする方

方 法

- インターネット上の Eラーニング実施。
- 全 6 教科を半年間かけて学習。

3

メディカルICTリーダー養成講座

* 全 6 教科の内容 *

教科タイトル	概要
クリニカルICT基礎概論 (1)	ハードウェアの故障や老朽化に対する対処法や予防策など。
クリニカルICT基礎概論 (2)	機器・ソフト管理、定期点検の方法など。
クリニカルICT基礎概論 (3)	プロジェクト管理と電子カルテ導入までの道筋 (RFP作成手順) など。
情報システム連携学・ICT用語解説	ネットワーク管理、障害対応、ICT用語解説など。
医療情報法務学	医療システム契約の法律上の特徴、トラブル回避法・対応方法など。
ICT購買学	機器購買にまつわるHow-Toなど。

■ 学習方法

- (1) 学習は Web 上の e-learning システムを通じて行い、6ヶ月を通じて全6教科を学習します。
- (2) 順次配信されるテキストを用いて、1ヶ月に1教科ずつ学習を進めていきます。
- (3) 教科ごとに演習問題が出題され、学習の進捗状況に応じた復習を行います。
- (4) 各教科に対するご質問などは、e-learning システムを通じていつでも可能です。



4

メディカルICTリーダー養成講座

* 受講者アンケート *

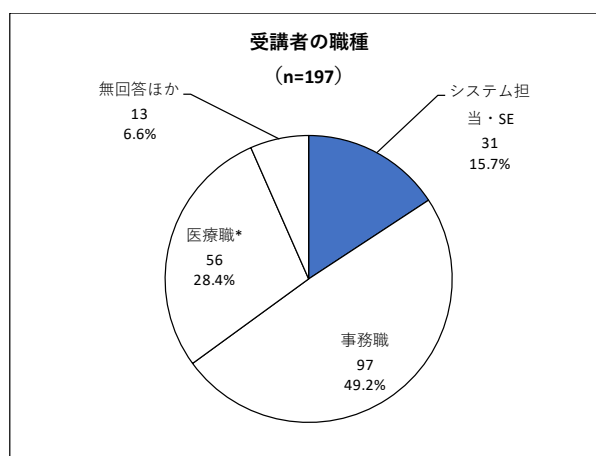
調査概要

- 【対 象】 第1回講座受講者 450名
 【方 法】 インターネット調査
 【実施期間】 2017年7月6日～8月21日
 【回答状況】 回収数197（回収率43.8%）

5

① システム担当の職種

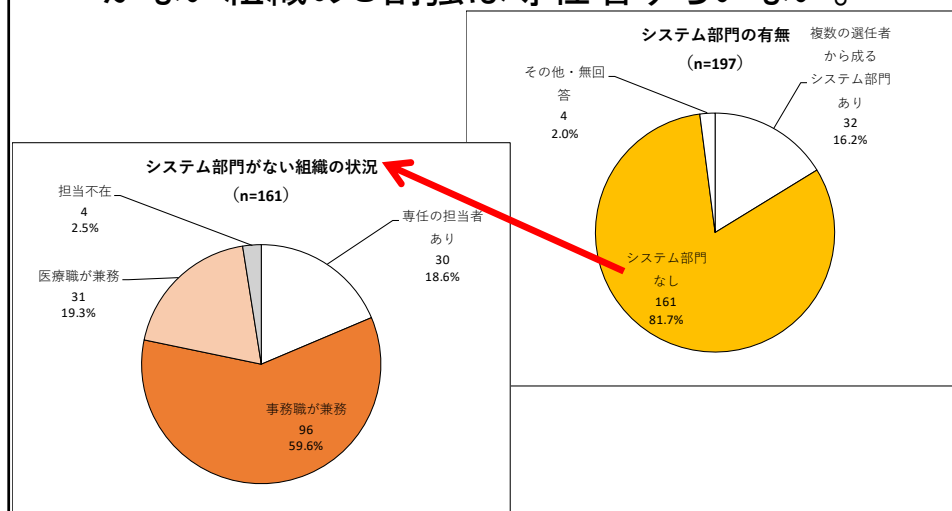
- システムのプロは少数派（16%）。8割以上はそれ以外。5割が事務系、3割が医療系。



6

② システム部門の状況

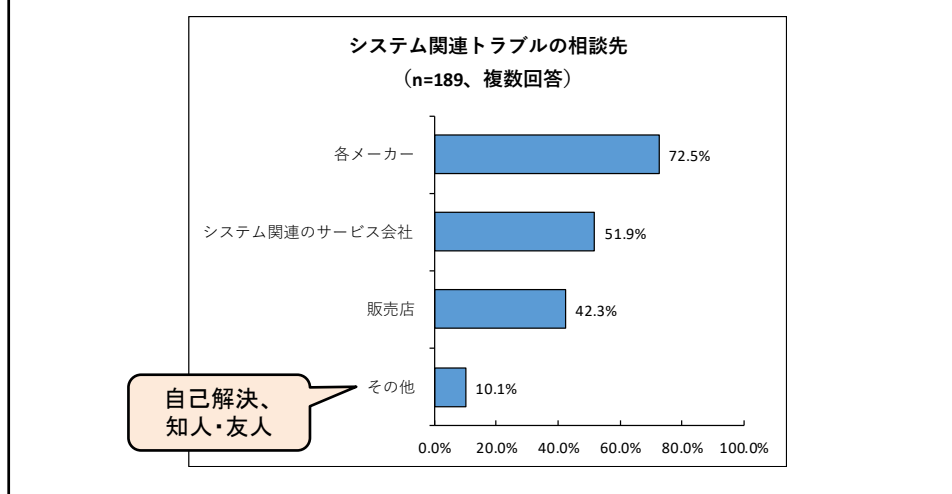
- 8割強にシステム部門がない。システム部門がない組織の8割強は専任者すらいない。



7

③ システム関連トラブルの相談先

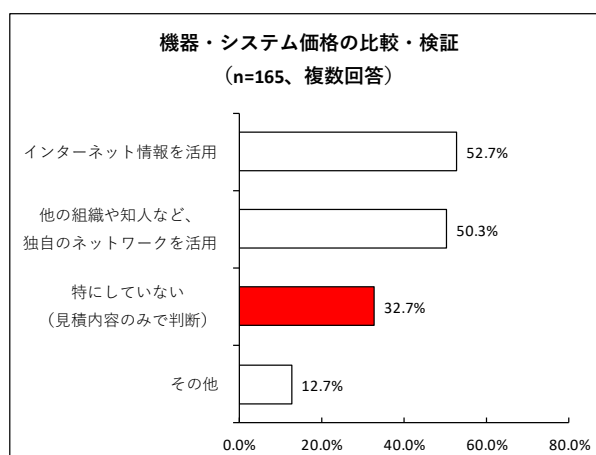
- メーカーに直接相談が最も多数(7割強)。販売店よりもサービス会社に相談している。



8

④見積価格の比較・検証の方法

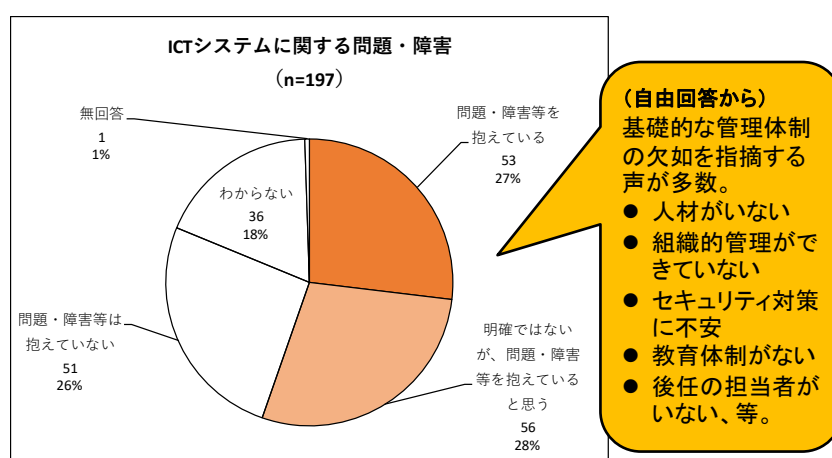
- 3割は何もしていない(言われるまま)。
ネットや独自情報を活用がそれぞれ5割。



9

⑤現在抱えている障害・問題

- 少なくとも半数超が問題・障害を抱えている。
しかも、それは一過性でなく、根源的問題。



10

まとめと考察

- 受講者層として、S E等システムのプロは少数派で、それ以外が8割超。彼らがICTリテラシーを身に着けることで、全体的なレベルの底上げが期待できる。
- 医療分野のビッグデータ分析にかかる期待とはウラハラに、現場の人員・体制はかくも厳しい。
- 現場のニーズを踏まえ、さらなる教育研修支援が求められる。

11

現在、第3回受講生募集中。
今秋には、【中級】も開講予定。



メディカルICTリーダー 養成講座【初級】

基礎から学ぶ
医療機関で求められるICTリテラシー

医療ICTシステムの導入・運用に関して、医療機関側に立った評価・判断を可能にするための職員研修講座です。
 本講座では、ICTリテラシーの高いコア人材を養成します。

詳しくは

「日本医師会ORCA管理機構」で 検 索

12